北海道オープンデータ官民ラウンドテーブル

データ要望に関する回答（当日回答）

| 要望のあったデータ | 要望内容 | 回答部局 | 回答、今後の対応 |
| --- | --- | --- | --- |
| 相談支援窓口一覧等のデータ | * 生活保護の相談
* こころの相談窓口
* 生活困窮者自立相談支援機関一覧　等

恒久的で、変更がされることがないURLに機関別、制度別等でCSVとして提供してほしい。 | 総合政策部次世代社会戦略局DX推進課 | ＜現状＞いずれも一定の一覧はあるものの、フォーマットが統一されていない。＜今後の方向性＞優先的にほしいデータに関してまとめていただき、そこからDX推進課の方でまとめ、データ担当課とともに検討予定。 |
| 災害時に利用可能な避難所一覧 | 避難所一覧はすでに公開されているが、リアルタイム性を出してほしい。災害発生時に、見守りアプリ利用者に近隣で利用可能な避難所を提示、レコメンドする。必要な項目* 避難所の名称
* 避難所の住所
* 緯度経度
* 避難可能人数
* 対応する災害タイプ
 | 総務部危機対策局危機対策課 | ＜現状＞* 避難所開設状況（開いているかどうか、埋まっているか）が分かるシステムを道で運用。
* 町村職員が入力して表示されるものになるため、町村職員の入力がされることが前提。
* 道でも代行することはできるが、町村からの情報がもとになっている。
* 入力の協力依頼を市町村に対して実施中。

＜今後の対応＞* 市町村へ協力依頼の継続。
* オープンデータとしての公開はされていないため、データの公開方法は別途検討。
 |
| ハザードマップ | 各市町村で、画像としては公開しているが、データ分析や機械学習をするために、メッシュ情報やもとになっている表データを出してほしい。各災害時にハザードマップ情報から評価した避難経路や避難所をレコメンドする。必要な項目* メッシュの地理情報（緯度経度）
* 各災害（土砂災害、津波、地震、洪水）での被害予想、危険度
 | 総務部危機対策局危機対策課 | ＜現状＞* 作成自体は市町村で行っているので、元データは北海道では持っていない。
* 国土交通省や国土地理院で収集、公開しているサイトがある。
* 収集協力依頼を市町村に対して実施中。

＜今後の対応＞市町村への協力依頼の継続。 |
| エネルギーの消費量データの継続的な公開 | 道有建物のエネルギー消費量データ過去10年分くらいあると、気象等による違いが見られる。2000年くらい遡ることができれば、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスの影響なども検討できる。 | 総務部行政局財産課 | ＜対応の方向性＞継続的な公開は可能。令和２年度分からについては、年度毎ではなく、月毎のデータを公開予定。＜公開時期＞令和３年度中 |
| エネルギーの消費量データの過去分 | 道有建物のエネルギー消費量データ過去10年分くらいあると、気象等による違いが見られる。2000年くらい遡ることができれば、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスの影響なども検討できる。 | 総務部行政局財産課 | ＜対応の方向性＞７，８年に遡って公開可能（過去のデータは年度毎）。＜公開時期＞調整中 |
| 建物データ | エネルギー消費量データと建物データを突合させるため、ユニークＩＤの検討を行ってほしい。 | 総務部行政局財産課 | ＜現状＞システムで管理しており、現段階でＩＤを検討することは難しい。＜対応の方向性＞※検討中の案* 次回システムのリプレース時期に、要件定義としてＩＤの付与を入れる。
* エネルギー消費量のデータと建物データを紐付ける中間ファイルの作成。（緯度経度を利用）
 |
| 道有建物の再生可能エネルギー情報のオープンデータ化 | 太陽光発電の実績値などのオープンデータ化 | 経済部環境・エネルギー局環境・エネルギー課 | 事前連絡により解決済み。 |